

忘れていませんか? 2人に1人の大問題

総合診療科 医師 西明博

みなさんこんにちは。総合診療科医師の西です。新型コロナウイルスに翻弄されたこの約2年の間で、いろいろな事を後回しにしてしまっている方も多いのではないのでしょうか。今回は、その中でも医療に関わる「がん検診」についてのお話です。

現在、統計上は日本人の2人に1人ががんになると言われていますが^{*1}、新型コロナウイルス感染症の流行以降、全国のがん検診の受診者数が減少しています^{*2}。私の患者さんでも「コロナが落



ち着いてからにします」と、数年間必要ながん検診を受けていない方がいます。医療機関や検診会場での感染を心配するのはもっともなことですし、昨年の第5波や今年の第6波の時のように、流行のピーク中にあえて受診する必要はないかもしれません。ただ、**病気はコロナだけではありませんし、2人に1人ががんになるという事実も変わりません。**是非、感染状況が落ち着いている時期を見計らってがん検診を受診することをお勧めいたします^{*3}。

かく言う私もコロナを言い訳に運動量が減り、順調に体重が増えています。コロナ明けに若潮マラソンを完走することを目標に、2022年はジョギングを頑張りたいと思います!



*1: 国立がん研究センター がん統計 2018年データより *2: 日本対がん協会ホームページより
*3: がん検診は適切な受診対象者と受診間隔があります。自分がどのがん検診を受けるべきかについてはかかりつけ医師に確認してください。

3年生(6期生)が卒業 ~コロナ禍を乗り越え~

安房医療福祉専門学校(看護学科3年課程)では、去る3月5日(土)に卒業式を小池ホールにて執り行いました。新型コロナウイルス感染防止のため、卒業生、保護者と教職員のみでの縮小開催となりましたが、和やかな雰囲気の中、コロナ禍で、さまざまな制約も余儀なくされた3年間、苦楽を共に過ごした仲間との別れを惜しんでいました。この原稿の作成時点では、まだ国家試験の正式な結果は出ておりませんが、卒業生全員が見事合格することを教職員一同、祈念しています。

4月からは、それぞれ新たな環境に新人看護師として羽ばたいていきます。本校の卒業生のうち、14名が新しい太陽会の仲間として入職の予定ですので、皆さま、どうぞよろしくお願いたします。

 安房医療福祉専門学校
☎ 0470-28-5100



本年度のオープンキャンパス日程(予定)

- ◇第2回 6月11日(土) 高校生向け
- ◇第3回 7月23日(土) 社会人向け
- ◇第4回 7月30日(土) 高校生向け
- ◇第5回 8月6日(土) 高校生向け
- ◇第6回 8月20日(土) 高校生向け ※第1回は3/29に開催済み

9月以降は学校説明会を開催
9/24、11/5、12/17、1/14
新型コロナウイルス感染拡大の状況により、オンライン開催等に変更等する場合があります。最新情報については随時HPにて、ご確認下さい。

<ご参考>
第1回入学試験
指定校制推薦、公募制推薦A
一般/社会人A
10月15日(土)
願書受付期間
9月21日(水)~10月6日(木)


編集後記 今年も太陽会のタイムリーな話題をお伝えできるよう、広報委員一同頑張っていきます。(広報委員会)

社会福祉法人 太陽会 広報誌 OHANA Vol.53 2022年4月1日発行
発行責任者/神定 浩明 編集責任者/三橋祥江 広報委員/石井・伊舎堂・今井・大和田・岡崎・川上(由)・小嶋・田中(椋)・梨岡・吉田・米倉(和)・渡邊(拓) 印刷・編集協力/有限会社コアコミュニケーション

社会福祉法人 太陽会 ☎ 296-0124 千葉県鴨川市大幡1222-1
TEL.04-7096-6100
FAX.04-7096-6101

OHANA

2022
春号
VOL.53

 社会福祉法人太陽会 広報誌

社会福祉法人 太陽会
〒296-0124
千葉県鴨川市大幡1222-1
TEL 04-7096-6100
FAX 04-7096-6101

◆巻頭言◆ポストコロナの平和社会に向けて 理事長 亀田信介



この春から始まる、
新しい一歩へ



▲今春、安房地域に、看護師(安房医療福祉専門学校6期生)が誕生し、「24時間365日の子育て支援」認定こども園OURSは開設6年となり6期生が巣立ちました。新たに介護福祉士(亀田グループの外国人介護福祉士養成プロジェクト1期生)も誕生し、新しい仲間!

- 3 Topics*詳しい記事は太陽会ホームページで!
「6名のベトナム人介護福祉士が私たちの仲間」
「OURS6期生の巣立ち・園庭リニューアル」
- 4 めぐみの里「焼き芋・初詣」
たいよう「節分」
- 5 らんまん「就職者・実習者の新たな一歩」
しあわせの里「天井式リフター・新年会」
- 6 まんぼう「楽しみを見つけて強く生きる・大切な新しい年」
らんまん ちょこっとPR
ベトナム人介護福祉士のご紹介
- 7 OURS「給食の鉄人2021入賞!・コロナ禍での食育活動」
助成ありがとうございました「非常時への備え」めぐみの里
- 8 安房地域医療センター「忘れていませんか? 2人に1人の大問題」
安房医療福祉専門学校「3年生(6期生)が卒業」

OHANA・オハナはハワイ語で家族。広い意味では、どんな時でも助け合い、いつもどこかでつながっている、そんな人と人との関係を、オハナと呼ぶようです。すべての人びとがOHANAであるよう願いを込めて、太陽会の広報誌をお届けします。

ポストコロナの平和社会に向けて

社会福祉法人太陽会 理事長
亀田 信介



COVID19感染症のパンデミックが始まって2年以上が経過しました。

この間、世界中で施行されたさまざまな規制は、人々の心や身体に大きなストレスを与えてきました。さらに飲食業や旅行業など、一部の業界では壊滅的とも思われる大きな打撃を受けています。一方、テレワークやオンライン会議など、仕事のやり方などが大きく変化したことにより、通信業や在宅需要をターゲットとした一部の業界は、ある意味コロナバブルといえる状況です。

今回のパンデミックは世の中の社会システムに不連続な変化をもたらしていますが、不可抗力により大きな被害を受けている人たちが報われるポストコロナ時代を目指すべきだと思います。

このような中、ロシアが突然ウクライナに侵攻するという信じられない出来事が起こっています。今、この時代に、国境や人種や宗教を理由に武力戦争を行うなどという考え方は時代錯誤と言わざるを得ません。しかし今回のロシアに限らず、世界中のあらゆる地域で醜い所有権争いが起こっているのは事実です。

人間は長い歴史の中で醜い過ちを繰り返していますが、お互いの所有権を巡って対立したり戦争したりするのではなく、人類の共有物として活用していくのがこれからの時代なのではないでしょうか？

私たちは今回のパンデミックで国や人種、貧富の差を乗り越え、人類が一致団結してウイルスに立ち向かわなければならぬことを学びました。また、これからのポストコロナ時代には、SDGsでも掲げられている持続可能な社会の基盤づくりのために世界が一丸となって取り組むことが必要不可欠です。

所有から共有へ、競争から協調へ、そして国や人種を越えた真のイコールパートナーシップを築いていくことが平和で幸せな社会につながると思います。

2022年4月

社会福祉法人太陽会の使命
Quality of Life への貢献

私たちは、全ての人々の幸福に貢献するために、常に愛とホスピタリティの心を大切にし、ゆとりある理想社会の創造を使命とします。

Topics

6名のベトナム人介護福祉士が私たちの仲間に

詳しい記事は
OHANAサイトへ



2022年4月1日(金)、6名のベトナム人が正職員(介護福祉士)として入職しました。

彼女たちは、太陽会と亀田医療技術専門学校とベトナムのドンア大学の3者による協定により来日し、「千葉県留学生受入れプログラム」に参加した学生です。

日本語学科で学び、介護福祉学科で2年間、勉強しながら、めぐみの里、たいようで週28時間のアルバイトを行ってきました。



新入職員のレーハンさん、チンさん、ファンさんを囲んで、茂木施設長、工藤副主任、落合副主任、瀬間主任(左から)【めぐみの里】



新入職員のビーさん、フエさん、タオさんを囲んで、和泉施設長、高橋副主任、竹石さん、出口さん、秋永さん(左から)【たいよう】

学生時代に当法人でアルバイトの経験はありましたが、正職員として入職してからは勤務時間と担当する仕事が増えてきました。

入職前は不安もたくさんあったようですが、これまでも先輩方に教えてもらい、だんだん仕事に慣れてきています。当初感じた不安が吹き飛ぶ様子も見られることでしょう。

今後、入国する後輩の指導にもあたります。

6名は社宅からバイクや自転車通勤しています。

応援してください!

※ドンア大学は、学生数約9,000人のベトナム中部地域で最大規模の私立大学です。所在地のダナン市は、国の中央直轄市であり、ベトナム中部最大の産業都市(人口約116万人)、ベトナムの主要な港湾都市です。ビーチリゾートとしても知られています。

Topics

OURS6期生の巣立ち・園庭リニューアル

詳しい記事は
OHANAサイトへ



24時間365日の子育て支援、開設7年目へ。出会いの数だけ成長し続けています。



3月19日(土)、6回目を迎えたOURS卒園式では、75名の子どもたちが、しっかりと未来を見据えて、巣立っていきました。

今年の卒園生には、OURS誕生と同年に生まれて、0歳から6年間OURSで成長してきた子どもたちもいます。OURSと同年の子どもたちが卒園していく姿に、OURSの園舎も少し寂しそうです。

園庭もリニューアル

子どもたちが新しいお友だちと出会うように、多くの子どもたちを迎え入れてきたOURSも、この6年間で成長してきました。

同時に、6年間、子どもたちが遊びに遊んだ園庭も、節目を迎え、また新しい子どもたちとの出会いのために新しくなっています。



メッセージ

平素より、認定こども園OURSの教育・保育にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。6年という大きな節目を迎えられたのも、園児、保護者の皆さま、見守って下さる地域の皆さまのお陰です。

これからもOURSは、出会いの数だけ進化を遂げ、全ての子育て世代の希望となる施設としての責務を全うして参ります。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。

焼き芋

焼き芋を作って食べました！
新聞紙に芋を包む作業から焼き加減の調整など、職員のサポートを受けながら楽しく行えました。

「実際に焼き芋を焼いたりできて楽しかった」

「やっぱり焼きたてはおいしい」など、好評でした。

なかには「昔よくやったから懐かしい」との声も聞かれました。



特別養護老人ホーム

めぐみの里

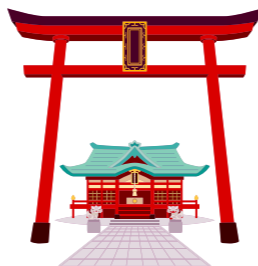
☎ 04-7098-1000



初詣!!

感染状況に鑑み、1月初旬、吉保八幡神社に初詣に行きました。

コロナ禍の生活は、面会や外出の制限など、我慢を強いられる生活。コロナの終息と無病息災を、心を込めて祈りました。



節分

いつもよりちょっと早い1月の下旬。厳しい寒さの中、たいように来訪者がみえました。

赤鬼と青鬼です。金棒を振り上げ向かってきます。

ご利用者を守ろうと、職員も必死です。



介護老人保健施設

たいよう

☎ 04-7093-7711

みるからに強そうな鬼に向かって果敢に豆を投げご利用者。

職員も一緒に「鬼は外!!」と鬼退治をしました。

節分にちなんだメニューを

2月3日(木)、コロナ禍で外出することが難しいため、いつもと趣向をかえておやつにコンビニ新発売のスイーツを食べました。

鬼のお顔が書いてあるマリトッツォです。かわいいですね。

ご利用者も「かわいい」「おいしそう」と言われ、生クリームがおいしいとの多くの声が聞かれました。



就職者・実習者の新たな一歩

ホテル業に就職して6年、休業から再開までの道のり



中嶋 冬馬さん

★コロナ禍で仕事が休業になったときの心境は？

長期間にわたり観光客が激減し、仕事が休みにになりました。これからどうなっていくのか不安でしたが、僕には、らんまんや、ケアホームらんまんという、サポートしてくれる場所があり、幸せを感じました。仕事は続けていこうと決めて、連絡を待つ日々を送りました。

★仕事再開・今後の目標は？

仕事が再開となり、ほっとした気持ちが一番でした。また、いまだに終息しないコロナですが、ホテルの従業員として、お客さまに対して真心と気遣いを忘れず、最高のおもてなしをしたいと思っております。ご来館をお待ちしております。

障害福祉サービス事業所

らんまん

☎ 04-7098-1800

清掃業務の実習再開



蔵持 伸之さん

★コロナ禍で実習が中止になったときの心境は？

いつも気持ちが張り詰めていたので、中止と聞いたときは、少し緊張がほぐれました。このまま実習が中止になってしまうのではないかと、不安もありました。

★実習再開・今後の目標は？

久しぶりの実習で不安もありましたが、スムーズに始めることができました。仕事の感覚もすぐに取り戻せて、今は自分のペースで取り組んでいます。今後は、実習の経験を活かしながら、少しずつできることを増やしていきたいです。

※らんまん開設以来19名のご利用者が、地元企業等に、実習を経て就職しています。

天井式リフター



ができ、床からの難しい介助もスムーズに行えます。

しあわせの里では、職員の腰痛予防やけがのリスク軽減、移乗介助動作の統一のために、移乗用リフトの導入を進めています。

天井走行リフトは、居室内にリフト専用のレールを設置することで、どの位置からでも介助のアプローチ



ご利用者と職員の腰の双方を守ることで、質の高いケアの実現が可能となります。

今後も導入を進めていきます。

障害者支援施設

しあわせの里

☎ 04-7098-1110

新年会 新しい年明け

毎年恒例の新年会が開催されました。寅年ということで、獅子舞も一風変わって、虎模様!! ご利用者に大人気でした! その後行われました、職員による「地獄のロシアンルーレット」。



良い事ありますように★



おいし〜



を食べた顔面蒼白な職員たち。見て楽しく過ごしました。

楽しみを見つけて強く生きる

★散歩

コロナ禍で外出の機会が減少し、ご利用者の皆さんは、気分転換とりハビリを兼ねてウォーキングを日課にする方が増えています。

早朝に出かけて浜辺の掃除をしてくる方、まんぼうの花壇に沿って歩行器を使用し、外気浴される方など、困難が続く中でも楽しみを見つけて、強く生きることの大事さを姿で見ていただいているように感じました。

★感染管理



まんぼうでは、ご利用者が自発的に感染管理に取り組んでおられます。お互いに声を掛け合い、各所に設置された手指消毒液で消毒を行い、マスク着用や、密の回避に努めています。お一人おひとりの気遣いが、まんぼうの皆さんを守り、危機を乗り越える力になることと思います。



ケアハウス **まんぼう**

☎ 04-7099-1331

大切な新しい年

大切な新しい年を、さすがにすがすがしく迎えるため、年の瀬に、恒例行事フラワーアレンジメントを行いました。



年神様と皆さまを歓迎するおもてなしの気持ちを込めて、

花を合わせて、幸せと無病息災を祈りました。

また、書初めを行ってまんぼうへプレゼントされたご利用者もおられ、ありがたく玄関に飾らせていただきました。



祝! 給食の鉄人2021入賞!

「給食の鉄人2021」に、認定こども園OURSもエントリーし、惜しくも最終選考は逃しましたが、見事入賞することができました!



目指せ幼児給食日本一!

入賞した「あじのさんが風味パン粉焼き」は、地場産物の鰯とレンコンを使用し、鰯には味噌と生姜でさんが焼き風に下味をつけ、蓮根を使用したタルタ



ルソースを添えた地元愛に溢れた一品です。2月には子どもたちに提供し、大好評でした!

※「給食の鉄人2021」は、乳幼児の成長や発達段階に合わせた食事の重要性や食育への貢献、乳幼児向け施設の調理職員の技術向上などを目的に、アイデア、調理、味、プレゼンテーションといった技術や知識を競い、NO.1チームを決めるイベントです。

コロナ禍での食育活動

包丁や皮むきを使用した調理体験ができなくなり、はや2年が経過しました。

コロナ禍、最も影響を受けたのは、食育活動かもしれません。子どもが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくために「食」はたいへん重要です。



らくがきせんべい



コロナ禍ではありますが、子どもたちが「食を営む力」を育めるよう、クラス担任、給食室の栄養士、調理員が一丸となり、試行錯誤しながら、食育活動を展開しています。



鏡餅づくり



ちょこっと PR

らんまん一押しここに注目!

<鴨川駅西口花壇>
ご利用者が思いを込めて植えた四季折々の花です。
近くにお寄りの際は、ご覧ください。

お問合せは、らんまんスタッフまで
☎04-7098-1800

仕事上のピーさんは、笑顔でご利用者と話をしたり、他の業務では真剣な表情だったり、毎日「生懸命仕事に取り組んでいます。正月の飾りつけでは、ピーさんは休みにもかかわらず、アルバイト生の先頭に立って飾り付け、ご利用者から「上手だね」との声が聞かれました。

たいよう 主任 今井 豊

お懸た人、いもも変士良のど生もやもにの日、い願命経七と市人なたにく生、や苦食のと体本もとバ、い頑験快てらのりとなな活今施労事で、験でう申ト、い張が適もで役た思るりには設しの、こでのニレナ、たる少に派すにいいこまもも長まこ知はし留年まム、しのなしな。立理まとし慣う、しとめすた学にすか、まごいま仕介つ由すはたれす職たなのハ。生な。ら、す、ご、事、護、仕、は、が、。こ、員。ど、頃、乙、周、活、り、日、来、。よ、す、ご、の、事、と、介、お、の、ご、で、は、目、り、は、ま、本、ま、ろ、が、私、仕、七、少、そ、こ、護、皆、り、お、も、新、は、初、し、に、し、し、一、は、他、事、し、し、れ、も、福、と、日、か、と、言、し、め、た、来、た、く、生、ま、の、は、た、で、ご、大、祉、仲、本、げ、先、て、葉、い、私、こ、ど

グエン・ティ・ピーさん
亀田医療技術専門学校卒、
ドリア大学卒
趣味・旅行・料理

ベトナム人
介護福祉士のご紹介 No.1

〈ピーさんの直筆です〉

助成ありがとうございました

特別養護老人ホームめぐみの里では、全国石油商業組合連合会「社会的重要インフラ自衛的燃料備蓄事業」の補助金を活用し、非常用発電機及び燃料タンクを整備しました。

非常時への備え

今後は、停電時に、これまでのスプリンクラーに加え、浄化槽、給水ポンプが動かせ、そのほかにも厨房や空調機器などの一部の電力が賅えるようになります。また、燃料タンクを設置することにより、およそ3日間の電力が確保できるようになります。



非常用発電機及び燃料タンク(めぐみの里)

災害対策能力の強化へ

これまで、台風などの被災経験から、施設のサービスを継続するうえで、非常に困ったのが停電でした。停電になると、電気はもちろんですが、ポンプが止まるため、水も使用できません。そこで、非常用発電機の整備については、検討を重ねておりました。さらに、昨今の我が国における災害の状況も考え合わせると非常用発電機の整備は急務と考え、実施に至りました。

また、めぐみの里は鴨川市との協定により、災害発生時に福祉避難所として開設・運営される場合がありますので、この事業の実施により、災害対策能力の強化を目指します。

* 今回の補助金は、社会的重要インフラ自衛的燃料備蓄事業として、石油燃料を確保する目的で、石油製品タンク等の設置費を補助する事業ですが、その石油製品を利用した発電設備も対象となっております。